

# 大谷小中学校だより

No.9  
平成31年1月1日  
珠洲市立大谷小中学校



## 去年今年貫く棒の如きもの 虚子

校長 作田 善久

新年明けましておめでとうございます。華やいだ新年の気分を感じながらも、「教育は一瞬にできるものではない。お預かりしている子ども達を育てるには時間がかかる。昨年の取組の上に今年の取組があり、その結果が子ども達の成長に現れる。」ということを改めて感じています。タイトルの高浜虚子の句にも、その時々に関わらず信念を貫こうとする意気込みが感じられます。年頭にあたり、校長としての責任を肝に銘じ、本年もよりよい学校を創るよう、職員一同励みますので、何卒よろしく願いいたします。

### <自立できる子どもを育てる>

学校での風景を紹介します。教科書を忘れた子どもがいました。その子は、授業が始まってから担当の先生に「教科書を忘れました。」と報告しました。それを聞いて先生が、「隣の人と一緒に見なさい。」と指導しました。

この指導はどうでしょうか。本来なら、休み時間中に職員室へ来て「教科書を忘れました。すみませんが貸してください。」というべきではないでしょうか。忘れ物は誰にでもあります。大切なことは、忘れ物をしたときに、適切な行動ができる子を育てるかということです。一見冷たいようですが、社会で通用する子どもを育てるヒントがここにあります。小規模で子どもと近い本校では、このような大人の関わりがいっそう大切になります。

このようなこともあります。本校では自動車で登校する子どもの乗降場所は、大谷川橋付近などを指定しています。(卓球部やミニバスの練習をして帰る場合は別ですが。)このことにも意味があります。例え短い距離でも、学校へは自分で歩いて通学させたいと考えるからです。寒ければジャンパーを着、雨が降れば長靴を履いて傘を差します。わずかな距離ですが、このようなことを自分で判断して行動できる子どもを育てることが大切です。雨が降りそうなら、ご家族の皆様も傘を持たせてください。急などしゃ降りの時は別として、お迎えの時に学校まで迎えに来たい気持ちを押さえて待つことも大切ではないでしょうか。そのことにより、「傘を持って」登校する子ども、言い替えれば、困難を自らの手で乗り越える子どもを育てることができます。

「自立できる子ども」は、実は周りの大人の関わりから育ちます。何を自分でさせるかは、一概には言えません。子どもの発達段階にもよります。しかし、日常生活の中で、このような視点のある関わりが大切です。今年は、校歌にある「元気に明るくたくましく」の「たくましさ」に視点を当てた教育を大切にしたいと考えています。そして、社会で活躍できる大谷の子ども達を育てたいと思っています。



## 体力向上に向けた取組(前期課程) 11月12日~26日

6月に測定した新体力テストの結果では、本校の児童は多くの種目で平均を上回っていますが、全体的には長座体前屈と持久走に課題がありました。そこで、持久力をつける取組として、期間中の10日間、2限目と3限目の休み時間に5分間走を行いました。5・6年生が真剣に走る姿を見せてくれたおかげで、前期課程全員が毎日、一生懸命走りました。大谷小中学校を出発し、石川県を一周して、ゴールにする目標を設定しました。具体的には、「10日で体育館100周」を石川県を一周としました。ところが、8日目には学校にゴールする子が出てきました。そこで急遽、海の上を超えて、120周走れば富山県氷見市に、140周で富山市として、進めました。取組後に前期課程全員で、持久力をみるシャトルランを測定したのですが、6月の記録を9人全員が上回りました。(1~3年生は6月は測定していません。)今後も、体を動かして体力を維持し、風邪に負けない強い体で、寒い冬を乗り越えましょう!



## 「ノーメディアデー」がんばっています!

生徒指導だよりにもありましたが、大谷小中学校のスマホやタブレット・ゲーム機などの使用時間を少しでも減らすために、「月曜日はノーメディアデー」として、取り組んでいます。これまで6回行いましたが、そのうち2回取組率100%を達成しました。今までのノーメディアデーにしたいこと・したことベスト5は、1位…読書、2位…勉強、3位…お手伝い、4位…マンガを読む、5位…百人一首、パズルと続きます。子ども達は、家での過ごし方を工夫して取り組んでいるようです。冬休みは、自分で2日間ノーメディアデーの日を設けることになりました。年末年始でお忙しい時期でもありますが、ぜひお子さんと話し合い、ノーメディアデーを決めて、家族でのふれあいの時間を大切にしてほしいと思います。ご協力よろしく願いいたします。

### ~おうちの方のコメントから~

- ☆ノーメディアデーには、家の手伝いをよくしてくれました。
- ☆しっかりとルールを守り、月曜は誰よりも早く寝る準備をして布団に入っていました。
- ☆「今日はノーメディアデーだから!」と家族の前で言う姿が見られた。意識づけは大事ですね。
- ☆テレビの時間は多すぎます。テレビを見ながらの勉強はやめて、もう少しがんばろう!
- ☆生活リズムは今のままでいいのか、今一度考え、受験生として体調管理をお願いします。



# 1月行事予定

日	曜	予 定
1	火	元日
2	水	
3	木	
4	金	仕事始め
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	3学期始業式 書初め大会 街頭指導
9	水	児童生徒会委員会
10	木	
11	金	大根の日
12	土	
13	日	
14	月	成人の日
15	火	街頭指導 学力テスト① (3~9年)
16	水	学力テスト② (3~9年) 定時退校日
17	木	児童生徒集会 租税教室 (6年・9年) まちの先生来校 (水墨画 5・6年田中先生)
18	金	避難訓練 (火災) さつまいもの日
19	土	
20	日	
21	月	GTEC (9年)
22	火	新年作文発表会 PTA 役員会 (19:00~)
23	水	たんぼぼ読み聞かせ
24	木	計画訪問C
25	金	集金袋配布
26	土	
27	日	珠洲市民百人一首かるた大会 (飯田公民館 8:45~)
28	月	市スピーチコンテスト
29	火	ブロック集会 奥能登芸術祭ワークショップ (5~9年 5・6限)
30	水	
31	木	スキー体験学習 (5~7年) ~2/1 泊:白山ろく少年自然の家

## ◇今後の予定◇

スキー教室 (1~4年) 2/1 (金)、にしゅうみ百人一首大会 2/3 (日)、市生涯学習推進大会 (5~7年参加) 2/11 (月)、遊びのチャンピオン大会 2/17 (日)、第3回卒業証書授与式 3/11 (月)

## 防災についての学習 (7年)

12月3日(月)

7年生の総合的な学習の時間に、市危機管理室長の土口さんに来ていただき、珠洲市の防災体制についてお話していただきました。市のハザードマップや自助・共助・公助が備わった自主防災組織の話聞き、自分たちに何が出来るかを考えると同時に、改めて命の大切さを学びました。



## 薬物乱用防止教室 (9年)

12月4日(火)

「薬物が人間に与える害」というテーマで、珠洲警察署の東さんに来ていただきました。9年生は、薬物が与える体への影響や対処方法を理解しました。



## ピュアキッズスクール(1・2年)

12月4日(火)

珠洲警察署の窪田さんと大谷駐在所の古谷さんに来ていただき、社会のルールやきまりを守る大切さについてお話していただきました。また、指紋を採取する道具を見せてもらい、何も見えないところに粉をふりかけると指紋が浮き出てくることに驚いていました。



## 生き物観察会報告会 (3・4年)

12月10日(月)

珠洲市内のすべての3年生 (本校は4年生も参加) がラポートすずで、自分たちの地域に生息する水生生物について発表しました。聞き手が分かりやすいように、見つけた水生生物の絵を用意したり、ゆっくりと大きな声で話したりと堂々と発表できました。発表の最後には、「農家の方々がたんぼを作って下さるおかげで、たくさんの生物が採取できた。いつまでも生き物が住みやすい環境が続けばいい」と締めくくっていました。



## 薬物乱用防止教室 (5・6年)

12月13日(木)



学校薬剤師の榊田三千代先生から、たばこ薬物が身体に与える害についてお話していただきました。大きくなってもこの日のお話を忘れずにいてほしいものです。

毎月、千田先生の俳句を紹介しています!

1月 「能登風げり越の雪嶺総立ちに」  
(句集「風位」より)



## 人権週間の取組 12月4日~10日

本校では、普段何気なく行っている思いやりの心に目を向けて、自分を見直し、他者への優しい気持ちを行動や言葉で表す週間として取り組みました。

子ども達は、毎日好きな葉っぱを持っていき、その日の優しい言葉遣いや言動について記入し、人権の木に貼りました。だんだんと葉が増える様子を見て、子ども達は足を止め、葉に書かれているたくさんの思いやりのある言動を読んでいた。

人権週間は、終わりましたが、これからも他人の事を思いやれる優しい気持ちがあふれる大谷小中学校であってほしいと思います。

~子ども達の感想より~

- ・友達のいいところを見つけると、心がほっこりした。
- ・友達を笑顔にして自分も喜べるいい週だった。
- ・自分がやさしいことをいっぱいしていたのでよかった。
- ・人のやさしさが分かってよかった。
- ・人権の木を見て「これぼくのかな」と思うとうれしかったです。
- ・これからも人権の木がいっぱいになるくらい人にやさしくしたいです。
- ・ふだん友だちには言えない感謝の気持ちを書いてはるととてもうれしくなるし、他の書いたものを見るとその人のうれしさが伝わりやすかった。



## お箏を楽しむ会 12月12日(火)

笹波町出身の川本さんから寄付していただいたお箏を使って行いました。今年度は、柳田中学校のお箏をお借りして11面のお箏で、7・9年生が演奏しました。演奏した曲は、「さくら」「チューリップ」「春の小川」「夕焼け小焼け」、そして「おどるポンポコリン」です。1~6年生は、歌詞を口ずさみながら演奏を聴いていました。その後、体験コーナーがあり、短い時間に「さくら」が弾けるようになっていた子もいました。感想発表では、「難しかったけど楽しかった」等、次々と手が挙がりました。この後、2学期が終わるまで、だんだん広場でお箏と楽譜を設置し、好きな時間に弾きました。次の日の朝からは、どこかの料亭にいるような優雅な音色がだんだん広場から響いていました。

